

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



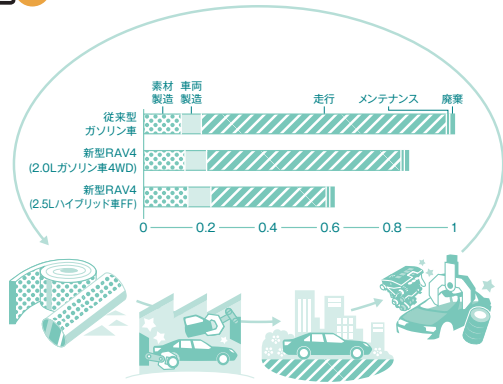
<http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/challenge2050/>

「人とクルマと自然が共生する社会」を目指して ～トヨタ環境チャレンジ2050～

トヨタは、温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球・社会にプラスとなる取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するための6つのチャレンジ(ゼロへのチャレンジ と、プラスへのチャレンジ)を実施していきます。

ゼロ CO₂ “0” へのチャレンジ ～環境負荷をゼロに近づけるためのトヨタの取り組み～

CO₂ ライフサイクルCO₂ ゼロチャレンジ



トヨタはクルマの一生のCO₂削減をデザインしています
トヨタでは燃費を良くするだけでなく、設計段階から、製造・廃棄・リサイクルにいたるクルマの一生を通して、CO₂排出量を削減するための取り組みを行っています。

LCA Method Certified
トヨタでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法(LCA「ライフサイクルアセスメント」:Life Cycle Assessment)で評価し、自動車の生涯走行距離10万km(10年)で計算した場合の結果を指数で示しています。

トヨタが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044規格に基づく審査・認証を受けました。

CO₂ 新車CO₂ ゼロチャレンジ



燃費の良いクルマを選ぶと、CO₂の削減に協力できます
クルマは、燃費が良くなればなるほど、CO₂の排出量を削減することができます。トヨタでは、燃費を向上させるために、あらゆる部品の軽量化や効率化を推進しています。

エコドライブでもCO₂を削減
ドライバーの運転をもとに、「エコな運転」をクルマが自動で診断。診断結果は、スマホアプリMyTOYOTA for T-Connectでご確認いただけます。



CO₂ 工場CO₂ ゼロチャレンジ



トヨタはエコカーだけでなく、エコ工場にも力を入れています
RAV4をつくる工場では、いいクルマを環境に負荷をかけることなくつくるために、従業員が日々知恵を絞り、様々なアプローチを行っています。エネルギーを必要としない装置の考案や、設備のシンプル化など、徹底的な省エネ活動を順次実施し、CO₂排出量ゼロを目指して削減に取り組んでいます。

地球環境へ プラス “+”のチャレンジ

～より良い環境をつくるための
トヨタの取り組み～

人と自然が共生する 未来づくりへのチャレンジ



トヨタの工場では、
緑をつなぐ活動をひろげていきます

RAV4をつくる工場では、生物多様性を保全する目的で、工場の敷地内での植林や、ビオトープの整備を行っています。また、工場の敷地内だけでなく、地域周辺の生きものや生態系の調査、天然記念物であるカキツバタ群落の保護活動などにも参加。地域の方々と共に力を合わせて、緑豊かな環境をひろげていきます。

トヨタ RAV4 環境仕様		6BA-MXAA54	6BA-MXAA52	6AA-AXAH54	6AA-AXAH52
車両型式					
エンジン	総排気量 L	1,986		2,487	
駆動装置	駆動方式	4輪駆動方式	前輪駆動方式	電気式4輪駆動方式	前輪駆動方式
車両重量	kg	1,570~1,650	1,500~1,520	1,670~1,710	1,620~1,640
燃料消費率	WLTC 燃料消費率*1(国土交通省審査値) km/L	15.2	15.8	20.6	21.4
	CO ₂ 排出量 g/km	153	147	113	108
JC08 燃料消費率*1(国土交通省審査値) km/L	燃料消費率*1(国土交通省審査値) km/L	—	—	25.0	25.2
	CO ₂ 排出量 g/km	—	—	93	92
参考		[平成27年度燃費基準*2]をクリアしています。		[2020年度燃費基準*2]をクリアしています。	
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)	平成30年基準排出ガス75%低減レベル*3			
	認定レベル値または適合規制値 CO/NMHC/NOx g/km	1.15/0.025/0.013			
車外騒音(加速/定常/近接)*4	dB	72(規制値)/-/75		73(規制値)/-/70	
冷媒の種類(GWP値*5)/使用量	g	HFO-1234yf(1*6)/550			
環境負荷物質削減	鉛/水銀 カドミウム/六価クロム	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*7)/自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*8) 自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)/自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)			
車室内VOC*9		自工会自主目標達成			
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	TSOP*10	バンパーカバー、グローブボックス、ルーフサイドガーニッシュ など		
	樹脂、ゴム部品への材料表示	TPO*11	インストルメントパネル、SRSカーテンシールドエアバッグ、ガラスラン など		
	リサイクル材の使用	再生PE 再生フェルト	フューエルタンク など ダッシュサイレンサー		

*1. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
*2. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。
*3. WLTCモード走行。
*4. 平成28年騒音規制。
*5. GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)
*6. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。
*7. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。
*8. 交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。
*9. VOC: Volatile Organic Compounds
*10. TSOP: Toyota Super Olefin Polymer
*11. TPO: Thermo Plastic Olefin

フロンラベル
この商品で使用しているガスの地球温暖化への影響は?
S (ノンフロン)
地球温暖化への影響が小さい
目録年度 2023年
使用ガスの地球温暖化係数 1